



- No.53 -

令和2年8月21日発行
群馬県中学校長会
会長 鈴木雅浩
前橋市文京町二丁目19-18
電話 027(223)7158



『子ども達にとって 良かったと思える学校』づくり

群馬県中学校長会長 鈴木雅浩

今年度はこれまでの普遍的な諸課題や働き方改革に加え、来年度に控えた新学習指導要領の全面实施、そして現在の新型コロナウイルス感染症拡大防止のための様々な対応など、大きな「節目」とともに、これまでに誰も経験したことのない「喫緊の課題」を抱えています。こうした課題の解決に向けて、各々の校長先生がリーダーシップを発揮できるよう活動方針に示した次の基本方針に基づき活動していきたいと考えています。

1. 本会の目的である「県下中学校長間の緊密な連絡提携を図り、中学校教育の振興に寄与すること」の達成に向けて本会の組織と機能を充実させる。
2. 県中学校長会の存在意義を踏まえた主体性を発揮するとともに、県教育委員会及び関係諸機関等との連携を深め、学校教育の課題への対応と改善を図る。
3. 令和元年度の全日中群馬大会の成果を各校の学校経営に活かし、校長としての力量を高め県民の信託に応える中学校教育の創造に努める。

県中学校長会の主体性と存在意義は『校長としての力量を高め、自校の学校経営に活かす』ことです。

今年度は新型コロナウイルス感染症の関係で、県校長会としての方向性や具体的な取組を決める様々な大会や会議の開催にも大きな影響が出ています。だからこそ、日々変化する社会情勢を踏まえ、一日も早い通常のエデュケーション活動を取り戻すために既存の専門部会を活かすとともに、理事研修会を柱に中学校長会を挙げた取組ができたかと考えています。

ぜひ、こうした状況の中でも『子ども達にとって自らの学校を良かったと思える学校』にできるよう、安心・安全な学校づくりを基盤に、一人一人の生徒が活躍の場のある学校づくり、そして授業が楽しい学校づくりを目指して、県下162校の校長先生方の力で、この新型コロナウイルス感染症の苦境を乗り越えて、子ども達とともに「未来を切り拓きよりよい社会を創り出していく力」を育んでいきたいと思っております。

第71回全日本中学校長会 Web 総会に参加して

書記 荻野雅志

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、第71回全日本中学校長会総会は東京都の全日中会館からリモート会議システムを活用して全国各都道府県へ配信するWeb総会として5月21日（木）に開催された。本県では生涯学習センター内にある県中学校長会事務局において、会長、副会長2名、総務部長、第二書記の5名が参加した。

開会後は川越豊彦会長の挨拶に続き表彰楯贈呈に係る被表彰者の紹介があり、萩生田文科大臣、藤田全国都道府県教育委員会連合会会長、直田全日中第41代会長からのお祝いメッセージも紹介された。

議事では令和元年度会務報告・令和元年度会計報告・監査報告が行われ、続いて令和2年度の役員が提案、承認された。新役員の自己紹介の後、代表して三田村 裕（東京都八王子市立第七中学校）会長からの挨拶があり、川越前会長からも退任の挨拶があった。その後、今年度

活動方針や今年度予算の提案承認、第72回全日本中学校長会研究協議会開催地、第72回全日本中学校長会研究協議会研究主題及び分科会研究題の提案承認、第71回全日本中学校長会総会における「宣言・決議」の提案が行われ、すべての議事の審議が終了した。

午後は滝波 泰文部科学省初等中等教育局教育課程課長より新型コロナウイルスに関連した感染症対策に関する対応及び学習の保障などについて「当面する教育課題」としてご講演頂いた。

その後、文部科学省行政説明において滝波教育課程課長よりコロナ禍での子どもの学び保障と新学習指導要領について、森友財務課長からは新学習指導要領の円滑な実施と働き方改革について、大濱児童生徒課長からは生徒指導上の諸課題やキャリア教育の推進について、スポーツ庁施策課学校体育室室長から学校体育と運動部活動についての説明があり、すべての日程を終了した。

教育情報部

県内の教育情報の収集と

情報提供

部長 三原 一志

1 活動方針

- (1) 県中学校長会の活動方針を踏まえ、県中学校教育の課題解決に資するための必要な教育情報の収集及び処理を行う。
- (2) 全日本中学校長会の『中学校教育に関する調査』の作成に協力する。
- (3) 県内中学校の教育課程編成等に関する調査を行い、群馬県の状況を把握する。また、調査結果をもとに『群馬の中学校教育』の編集・刊行を行う。

2 活動内容

- (1) 県内中学校に、「令和2年度教育課程編成等に関する状況調査」を実施し、『群馬の中学校教育』（令和2年版）の編集・刊行を行う。
- (2) 全日中教育情報部の諸活動に幹事県と

して参画し、調査協力や『中学校教育に関する調査』の作成を行う。

- (3) 『全日中学校研究便覧』（第33集）の刊行に協力する。

3 主な活動計画

- 第1回部会 活動方針・組織編成、活動計画の検討 5月12日
- 第1回常任委員会 活動計画の決定 6月17日
- 第2回部会 教育課程編成等調査内容の検討、「群馬の中学校教育」編集方針決定 8月5日
- 第2回常任委員会 調査内容の決定 8月19日
- 第3回部会 調査用紙の集計作業（各郡市単位）、メールで集計データ送付 10月6日
- 第4回部会 集計及び執筆分担確認 10月20日
- 第3回常任委員会 原稿最終校正 11月19日

教育研究部

新たな時代を切り拓き、よりよい社会を
創り出していく日本人を育てる中学校教育

部長 都丸 一郎

1 活動方針

- (1) 県中学校長会全体研究協議会の企画・準備・運営に努める。
- (2) 校長会として、新学習指導要領の全面实施に向けた課題の解決に努める。
- (3) 郡市の共同研究の計画的推進に努める。
- (4) 学校経営及び学力向上に関する調査研究の充実に努める。

2 活動内容

- (1) 県中学校長会全体研究協議会の企画・

準備・運営

- (2) 新学習指導要領の下での学習評価についての情報交換
- (3) 各郡市の共同研究への支援・協力
- (4) 学校経営及び学力向上に関する調査研究の実施・分析・報告

3 活動計画

○教育研究部会（全6回実施）

5/12、6/23、9/3、10/2、10/29、1/15

○令和2年度全日中和歌山大会（紙上発表）

提案者：桐生市立黒保根中学校
山越 達哉 校長

人事給与対策部

職責に見合う

待遇改善の実現を目指して

部長 諏訪 博昭

1 活動方針

令和2年度の県中学校長会の活動方針に基づき、「未来をたくましく生きる力」をはぐくむ中学校教育を推進するため、教員の職責に見合った待遇改善の実現を目指して活動する。

- ①学習指導要領の実施及び推進に向けた定数改善
- ②生徒指導や特別支援教育等の教育課題に対応するための人的配置の充実
- ③教員の諸手当の増額と退職時の処遇改善
- ④教員のゆとり確保のための業務改善
- ⑤教員の任用、配置、評価等の改善・充実
- ⑥義務教育費国庫負担制度、教科書無償給与

制度及び人材確保法の堅持

⑦福利厚生のための諸条件の改善

2 活動計画

5月12日（火）第1回人事給与対策部会

「組織・活動方針・活動計画等の決定」

「県への提言事項の素案作成と管理職名簿の校正」

6月17日（水）小中合同人事給与対策部研修

「人事・給与に関する研修」

6月26日（金）第2回中学校理事研修会

「提言書の原案検討・最終案の作成」

8月4日（火）県教育委員会との意見交換会

「県への提言書の提出と意見交換」

10月28日（水）第4回中学校理事研修会

「県からの提言書の回答の報告と検討」

2月5日（金）小中合同人事給与対策部会

「まとめと令和4年度提言書(案)の作成・検討」

生徒指導部

生徒指導に関する研修と

啓発に努める

部長 鷹野 智由

1 活動方針

令和2年度県中学校長会活動方針の1つである「生徒の自己指導能力の育成を図る生徒指導、並びに不登校やいじめ等生徒指導上の課題解決に向けたチーム学校の推進に資する研修と啓発を行う。」に基づき、校長としてリーダーシップを発揮し、生徒指導が学校全体として組織的・計画的に機能し、家庭や地域及び関係機

関等との連携・協力を図れたりするよう努めたい。そのために、当面する生徒指導上の課題への対応策・解決策について実践事例を持ち寄って協議し、適正な生徒指導の在り方と多様な問題への対応に関して研修を深め、啓発に努めたい。

また、県小学校・中学校教育研究会と連携して、「生徒指導部会研究大会（講演会）」に参加し、心を育てる積極的な生徒指導や新しい生徒指導上の課題の解決方法等を学び、啓発に努めたい。

2 活動内容

県内の中学校及び中学生に関わる当面する生徒指導上の新しい課題について、情報を交換し

全日中だより

会長 鈴木雅浩

○令和2年度第1回Web理事会の内容

5月20日(水)に今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため東京虎ノ門の全日中事務局を基点として全国の校長会を中継しテレビ会議を用いて次の内容で開催されました。本県においては群馬県中学校長会事務局において参加しました。

1 会長挨拶

①全日中校長会の目指す姿は「実践もあり理論もある有言実行の教育の専門集団」である

②全日中校長会は、会員相互の緊密な協調を保ち、中学校教育の振興と国家社会の発展に寄与する

③第2回理事会開催について7月下旬に最終判断

2 報告事項

* Web基金管理運営委員会 * Web常任理事会
* 「中学校教育に関する調査について」

3 協議事項

(1)全日中教育ビジョン 学校からの改革について

(2)第71回Web総会関係

(3)第71回全日中和歌山大会開催等の可否について

(4)第72回全日中静岡大会実施要項(案)について

(5)令和2年度各部・委員会活動計画

(6)令和3年度文教関係立法・予算要望基本方針

(7)令和3年度各地区研究大会について

(8)中学校便覧第33集掲載校推薦依頼

(9)令和2年度年間行事及び関係会合について

4 連絡事項

(1)令和2年度研究協議会宣言・決議について

(2)「実務の手引き」について

(3)その他

①役員名簿の確認

②全日本中学校長会館案内図

5 情報交換

①「新型コロナウイルス感染症に対する各県の動向と課題」

②「秋入学について」

○今後の予定

1 全日中研究協議会

①令和2年度 和歌山大会中止

②令和3年度 静岡大会 令和3年10月21・22日

2 令和2年度理事会予定

第2回理事会 10月21日 ホテルグランヴィア和歌山

第3回理事会 1月22日 国立オリセン

事務局だより

総務部長 飯塚敏雄

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各種会議等が中止・延期となる中でのスタートとなりました。

令和2年4月17日(金)の評議員会は中止となりましたが、書面決議をもって鈴木雅浩会長をはじめとする新役員が決定しました。

続いて5月12日(火)に予定されていた「第74回定期総会並びに研究協議会」も中止となり、評議員会の書面決議をもって定期総会の決議に代えさせていただきました。内容は例年通り、活動方針、事業計画、予算、大会宣言等でした。研究発表及び協議では、今年度の関地区中神奈川大会本県提案者、高崎市立倉渕中学校の田中宏巳校長より「地域等の外部の人的・物的資源を有効活用し、家庭や地域社会との連携・協働を深める教育課程の編成・実施」について、全日中和歌山大会本県提案者、桐生市立黒保根中学校の山越達哉校長から「地域との連携・協働によるチーム学校の実現」について発表していただく予定でした。

「第71回全日本中学校長会総会」は、全国の代議員が一堂に会することなく、全日中事務局と各都道府県事務局をZoomでつなぎ、史上初の「Web総会」という形で実施しました。例年2日間で開催している総会を、1日に短縮して行いました。午前の部では、第44代会長として三田村 裕会長(八王子市立第七中学校)をはじめとする新役員の選出、活動方針、予算、全日中静岡大会研究協議会等の承認、大会宣言・決議案の採択が行われました。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今年度の全日中和歌山大会を紙面発表とする報告もされました。午後は、文部科学省初等中等教育局教育課程課長の講演と教育課程課、財務課、児童生徒課、スポーツ庁よりそれぞれ行政説明がありました。本会からは、総会に5名が参加しました。

本年度の事務局は、山田和豊事務局長と谷田久事務局次長、古澤みどり事務局員の三人にお世話になり、本年度の理事会や各専門部会の活動等、本会の円滑な運営を進めていただいています。